

# KDDI Flex Remote Access VPNクライアントソフト（Cisco AnyConnect） ご利用にあたってのご注意事項

KDDI株式会社

2019年9月



# Windows®、MAC OS用VPNクライアントソフト バージョンによる仕様差異

# はじめに

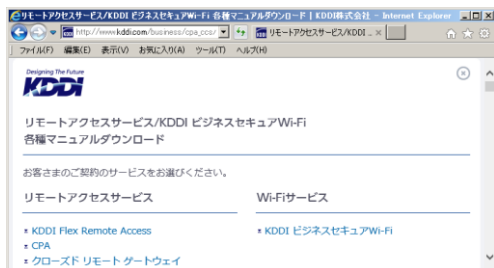
「KDDI Flex Remote Access (略称:KDDI FRE)」のWindows®用/MAC OS用クライアントソフトは、複数のバージョンを提供しています。

バージョンごとの『対応OS』『仕様変更箇所/注意事項』をご案内しますので、必ず内容をご確認の上、ご利用ください。

※各バージョンごとに仕様変更点があります。

## 【Windows®用/macOS用クライアントソフト インストール方法】

①ウェブサイトのインストーラーを利用し  
インストール



提供バージョン  
は**4種類**

② FREへの初回接続 (ブラウザ接続) により  
インストール



提供バージョン  
は**1種類**



ご利用者さま

※インストール方法は各マニュアルをご参照ください。

# 各バージョンの比較/差異(Windows®, MAC OS版)

項目/バージョン	3.1.05178	4.1.06020	4.3.04027	4.5.03040	4.6.03049
サポートOS	Windows® 7 Windows® 8.1	Windows® 7 Windows® 8.1 Window® 10	Windows® 7 Windows® 8.1 Window® 10	Windows® 7 Windows® 8.1 Window®10(1709)	Windows® 7 Windows® 8.1 Window® 10(1709) Window® 10(1803) Window® 10(1809)
	OS X 10.7 OS X 10.8 OS X 10.9	OS X 10.9 OS X 10.10 OS X 10.11	OS X 10.9 OS X 10.10 OS X 10.11 macOS 10.12	OS X 10.11 macOS 10.12 macOS 10.13	OS X 10.11 macOS 10.12 macOS 10.13 macOS 10.14
Cisco AnyConnectの 提供方法	① KDDI HP	① KDDI HP	① KDDI HP	① KDDI HP ② FREのGW設備	① KDDI HP
①内部DNSに 対する通信仕様	DNS通信は VPNトンネル外でも 可能	DNS通信は VPNトンネル内で通信	DNS通信は VPNトンネル内で通 信	DNS通信は VPNトンネル内で通信	DNS通信は VPNトンネル内で通信
②信頼できるNWの仕様 (指定なしの場合)	信頼できるNW として動作	信頼できるNW として動作	信頼できないNW として動作	信頼できないNW として動作	信頼できないNW として動作

その他)

・ Windows®10 (1709)では、UIがクラッシュする不具合(CSCvg17421)があります。(UIのみでVPN接続自体には影響無し)

仕様差分の詳細については、以下マニュアルをご参照ください。

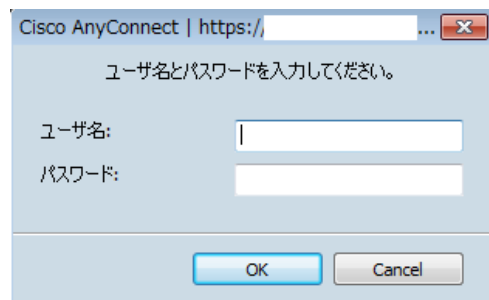
⇒ 「VPN接続手順・VPNクライアントソフト操作マニュアル ([Windows版](#)・[MAC版](#)) 」

# Ver.3とVer.4の画面の違いと Ver.3からVer.4へのアップデートについて (Windows®、MAC OS版)

## ■ ver.3.x



接続先を入力  
「接続」ボタンクリック



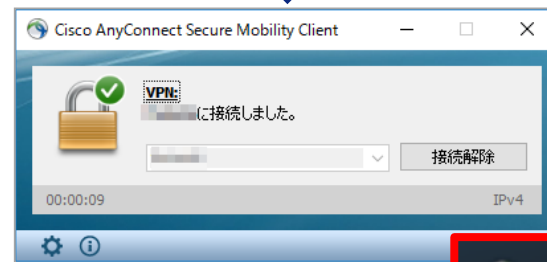
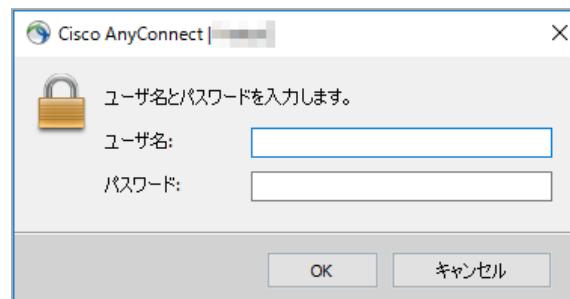
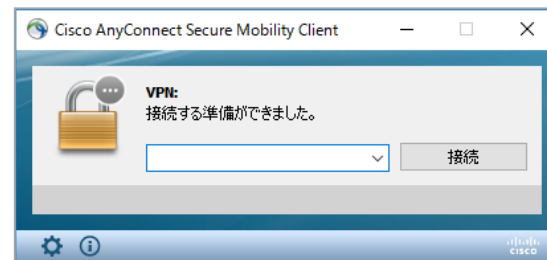
ユーザ名とパスワード入力  
(RADIUS認証の場合)



VPN接続完了  
(タスクバーに鍵表示)



## ■ ver.4.x



# MAC OS画面比較(接続操作)

## ■ ver.3.x



接続先を入力  
「接続」ボタンクリック

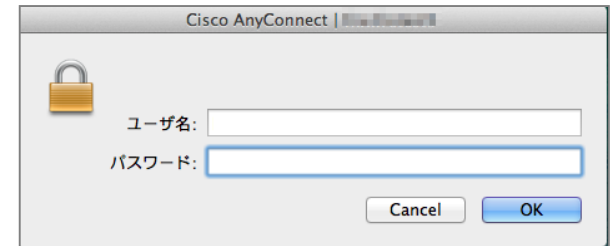


ユーザ名とパスワード入力  
(RADIUS認証の場合)



VPN接続完了  
(タスクバーに鍵表示)

## ■ ver.4.x



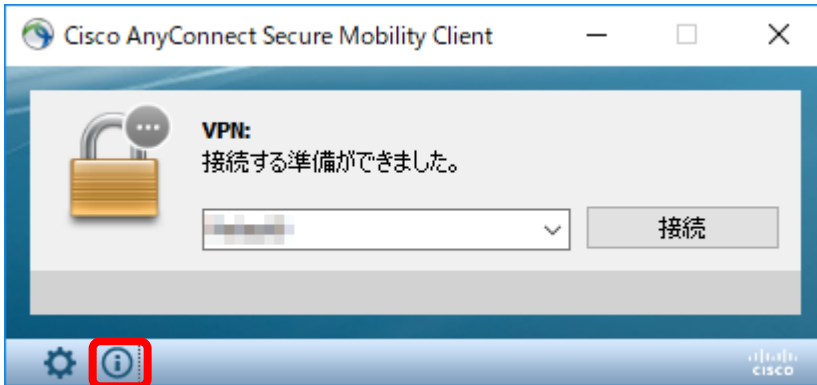
**バージョンの確認方法と  
ver.3からver.4へのアップデート方法  
Windows®、MAC OS**



# 現在のバージョンの確認方法

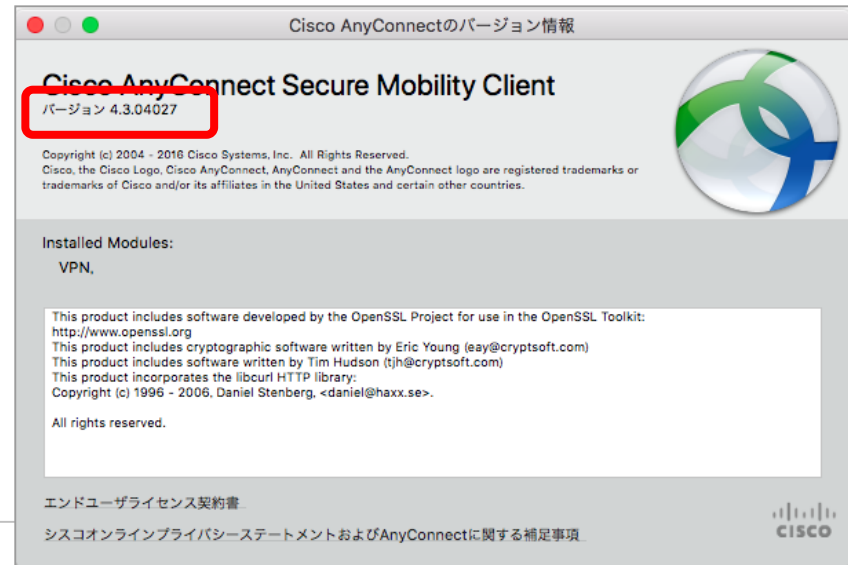
## ■ Windows®版

Cisco AnyConnectの『i』マークをクリックして確認できます。



## ■ MAC OS版

Cisco AnyConnectのメニューより、『Cisco AnyConnectのバージョン情報』をクリックして確認できます。



# クライアントソフトアップデート方法

## ■ KDDI HPより、AnyConnect のインストーラをダウンロード

- 1) ご利用端末にて、以下ページよりAnyConnect のインストーラをダウンロードします。  
 (Start Before Logon(SBL)機能のオプションをご利用のお客さまは、SBLモジュールのインストーラも  
 同ページより別途ダウンロードしてください)

[http://www.kddi.com/business/cpa\\_ccs/](http://www.kddi.com/business/cpa_ccs/)

	エンドユーザーさま (インストーラを利用してインストールされるお客さま)
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows版 Cisco AnyConnect 3.1.05178</li> <li> VPNクライアントソフト (インストーラ 2.9MB)</li> <li> DART (インストーラ 0.9MB)</li> </ul>	エンドユーザーさま (Windows (R) 8.1/Windows (R) 7)
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows版 Cisco AnyConnect 4.1.06020</li> <li> VPNクライアントソフト (インストーラ 3.3MB)</li> <li> DART (インストーラ 1.1MB)</li> </ul>	エンドユーザーさま (Windows (R) 10/Windows (R) 8.1/Windows (R) 7)
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows版 Cisco AnyConnect 4.3.04027</li> <li> VPNクライアントソフト (インストーラ 4.7MB)</li> <li> DART (インストーラ 2.3MB)</li> </ul>	エンドユーザーさま (Windows (R) 10/Windows (R) 8.1/Windows (R) 7)
<ul style="list-style-type: none"> <li>Mac OS版 Cisco AnyConnect 3.1.05178</li> <li> VPNクライアントソフト (インストーラ 4.6MB)</li> <li> DART (インストーラ 477KB)</li> </ul>	エンドユーザーさま (OS X 10.9/OS X 10.8/Mac OS X 10.7)
<ul style="list-style-type: none"> <li>Mac OS版 Cisco AnyConnect 4.1.06020</li> <li> VPNクライアントソフト (インストーラ 5.4MB)</li> <li> DART (インストーラ 546KB)</li> </ul>	エンドユーザーさま (OS X 10.11/OS X 10.10/OS X 10.9)
<ul style="list-style-type: none"> <li>Mac OS版 Cisco AnyConnect 4.3.04027</li> <li> VPNクライアントソフト (インストーラ 6.1MB)</li> <li> DART (インストーラ 657KB)</li> </ul>	エンドユーザーさま (macOS 10.12/OS X 10.11/OS X 10.10)

SBLモジュール (インストーラ) ※ SBL機能をご利用のお客さまは必要に応じてご利用下さい	対象のお客さま
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows版 Cisco AnyConnect gina 3.1.05178</li> <li> SBLモジュール (インストーラ 769KB)</li> </ul>	エンドユーザーさま (Windows (R) 8.1/Windows (R) 7)
<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows版 Cisco AnyConnect gina 4.3.04027</li> <li> SBLモジュール (インストーラ 1.0MB)</li> </ul>	エンドユーザーさま (Windows (R) 10/Windows (R) 8.1/Windows (R) 7)

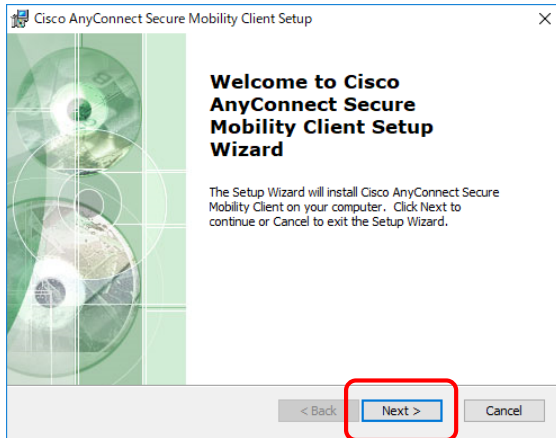
※ お客さまの端末の環境に依存することがあるため、アップデートの際は社内展開前にお客さま環境において事前に検証することをお願いします。

# クライアントソフトアップデート方法

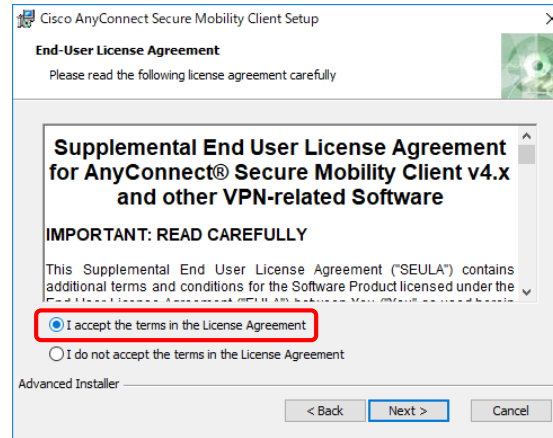
2) インストーラを起動し、ウィザードに従ってインストールします。(画面はWindows®版)

※ 管理者権限が必要です

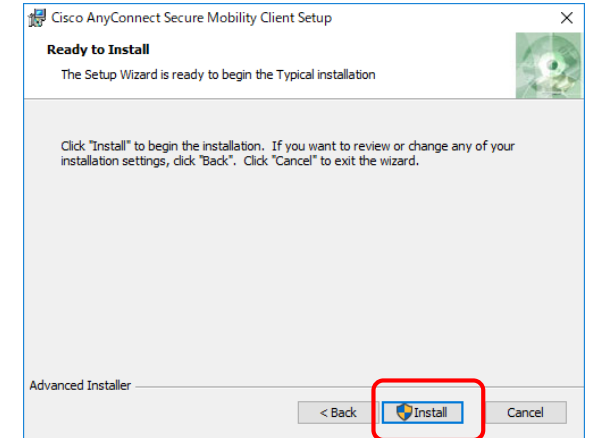
① 【Next】をクリック



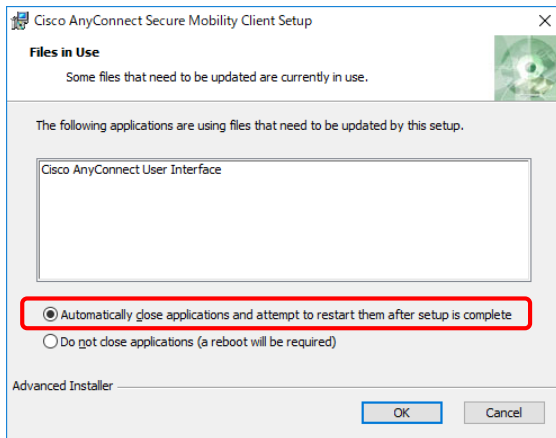
② 【I accept...】を選択して【Next】



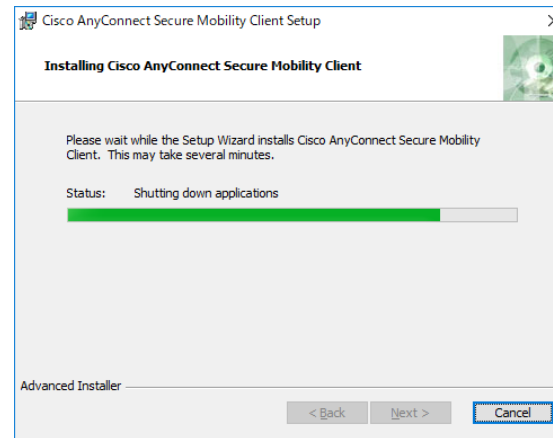
③ 【Install】をクリック



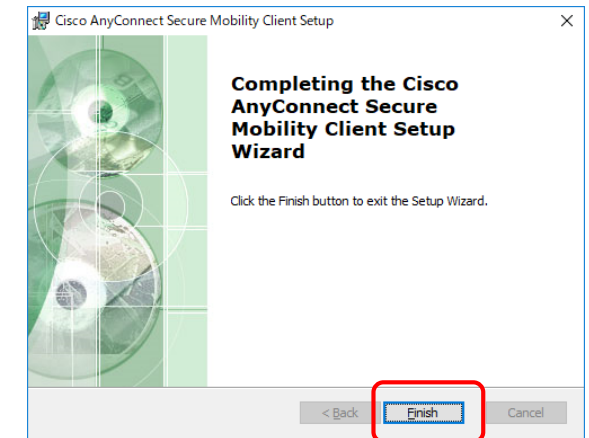
④ 【Automatically...】を選択して【OK】



⑤ 管理者パスワードを入力した後、v.3.1のアンインストールと、v.4.3のインストールが実施されます。



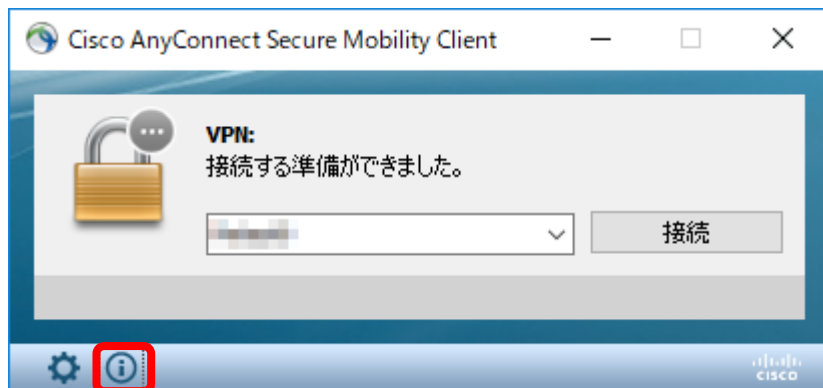
⑥ 【Finish】をクリックしてインストール完了



(Start Before Logon(SBL)機能をご利用のお客さまは、引き続きSBLモジュールのインストーラを起動してインストールしてください。)

# クライアントソフトアップデート方法

- 3) Cisco AnyConnectを起動して、バージョンを確認します。(画面はWindows®版)  
 ※ プロファイルは残ってますので、前回接続したサフィックス名が表示されています。



バージョン情報を表示



- 4) 【接続】ボタンでFREに接続します。  
 ※ ID、パスワードや証明書は従来のものを利用できます。



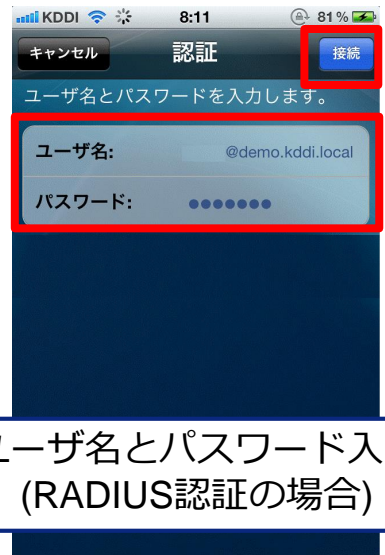
# Ver.3とVer.4の画面の違いと Ver.3からVer.4へのアップデートについて (iOS/iPadOS、Android™版)

# iOS版画面比較(接続操作)

## ■ ver.3.x



ボタンをスライド



ユーザ名とパスワード入力  
(RADIUS認証の場合)

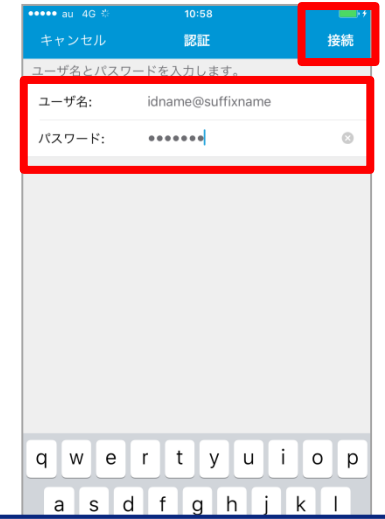


VPN接続完了

## ■ ver.4.x



ボタンをスライド



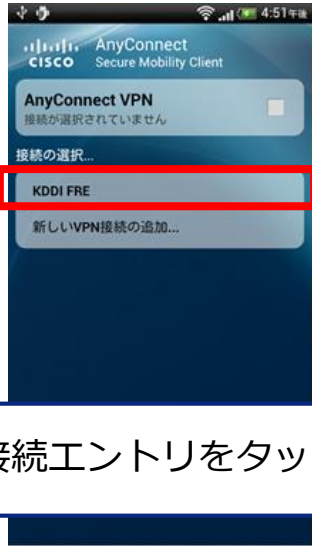
ユーザ名とパスワード入力  
(RADIUS認証の場合)



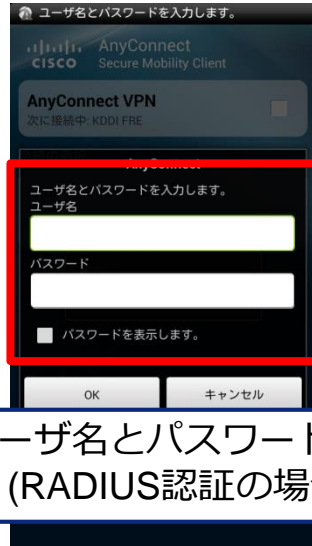
VPN接続完了

# Android™ 版画面比較(接続操作)

## ■ ver.3.x



接続エントリをタップ



ユーザ名とパスワード入力 (RADIUS認証の場合)



VPN接続完了

## ■ ver.4.x



VPNを「オン」に変更



ユーザ名とパスワード入力 (RADIUS認証の場合)



VPN接続完了

**バージョンの確認方法と  
ver.3からver.4へのアップデート方法  
iOS/iPadOS, Android™**



# 現在のバージョンの確認方法

## ■ iOS版(AnyConnect)

Cisco AnyConnectアプリの下部より『i』マーク『バージョン情報』をタップして確認できます。



## ■ Android™版

Cisco AnyConnectのメニューより、『バージョン情報』をタップして確認できます。



# iOS版のAnyConnectについて

## ■ 2種類のAnyConnectアプリ

- ・ 現在Cisco社より、2つのAnyConnectアプリケーションがApp Storeにて提供されています。
- ・ ver3.xを「アップデート」を実施すると、『**Cisco Legacy AnyConnect**』になります。
- ・ 『**Cisco AnyConnect**』(新しいAnyConnect)は新規にインストールする必要があります。

<b>Cisco Legacy AnyConnect</b> Ver.4.0.05072 	旧来のAnyConnectから名称を変更	対応OS iOS 6～ 11.x
<b>Cisco AnyConnect</b> Ver.4.0.07077～ 	新しいAnyConnect	対応OS iOS 10以降 iPadOS13以降



- ・ Cisco社より 『将来的にはCisco Legacy AnyConnectは終了する予定』 また、『Legacy AnyConnectはiOS12以降では対応しない予定』 とのアナウンスがあります。
- ・ Legacy AnyConnectから新しいAnyConnectに変更する場合、
  - ID認証のみのお客さまは、アプリの入れ替えのみで新しいAnyConnectをご利用いただけます。
  - 証明書認証のお客さまは新しいAnyConnectを利用するためには「iOS構成プロファイル」で所定の設定が必要になり、一般的には証明書の再発行・再インストールが必要になります。

# クライアントソフトアップデート方法

## ■ Storeからアップデート

App Storeまたは、Google Play Storeからアップデートしてください。

※ お客さまの端末の環境に依存することがあるため、アップデートの際は社内展開前にお客さま環境において事前に検証することをお願いします。